

箕輪町 農業委員会だより

挑戦

耕作放棄地解消への取り組み

上古田「山ん田の会」

代表 唐澤敬司氏 会員 21名

耕作放棄地となっていた棚田に地主である唐澤さんが14年前からアヤメを植えて景観作りを始めたところ、令和元年に地区の賛同する仲間たちが集まり会を結成、名称は「山ん田の会」、周辺の耕作放棄地にまで活動の輪が広がりを続けています。

訪問した時には12名の会員が参加して、草刈りと除草作業で汗を流していました。植えてから7～8年で株分けとなりますが、月2回の草刈りと除草作業は10月まで続きます。その間に手作りの東屋でのお茶会・食事会なども行われ、ますます仲間力も高まり挑戦し続けています。

5月下旬の花の時期に訪れて、一面花いっぱいの棚田を見下ろした風景です。



前列左より4人目が代表の唐澤さん



目から うろこ編 ぞのれ

「大玉トマトの病害虫防除方法」

唐澤 金実さん（沢）

1, トマトの連作障害等の原因は、土壌中に有機物が少なく化学肥料一辺倒で畑内に雑草の一つも生えていない畑に多く見受けられます。土の中には微生物がたくさん住んでいますが、微生物は餌となる有機物や植物の根から放出される糖類を餌に活動しています。野菜類と共生する有用菌が増えれば、拮抗作用によって病害菌は少なくなります。

もし毎年発生するようであれば、場所を変えるか、米汁乳酸菌液（作る方は別途）を定植前に多めに灌水すると、青枯れやかいよう病は抑えられます。

2, 梅雨時に発生する疫病や灰色カビ病は、湿度が80%と高く、気温が18℃を超してくると、発生しやすくなります。

露地栽培では、土からの雨水の跳ね返りで土壌にいた菌が葉に感染することが多くなりますので、晴れた日に株元の葉を切除することと、株元に藁やヨモギでマルチを施し、米ぬかをまいておくで防げます。

トマトうどんこ病は、乾燥と窒素肥料過多で発生が多くなります。

アルカリに弱いので、重曹を水に溶き、約300倍で患部に何度か噴霧するか、微生物農薬（ボトキラー水和剤等）を規定倍率で散布すると、消えていきます。

3, トマトの害虫には、主にアブラムシ、ヨトウ類、コナジラミ類がいます。

ヨトウ類は植物体を食害し、アブラムシやコナジラミは、植物体から養分を吸汁します。

ヨトウ類の防除は、蛾が植物体に卵を産み付けるか、土壌中にいた幼虫が植物体に這い上がってくることがあります

ので、トマトの株元の茎にアルミホイルを揉んでから巻き付けます。

卵が葉裏に産み付けられていたり、幼虫（芋虫）を見かけたら捕殺します。多いようならば、以下の混合剤で防除します。

アブラムシやコナジラミは、定植初期から発生が見られますので、適時サフオイルと米酢と焼酎を各300倍に薄めて、混合散布することをおすすめします。



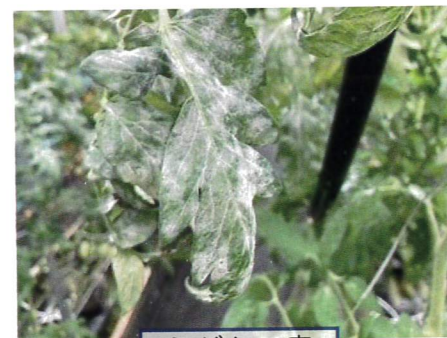
かいよう病斑



青枯れ症状



疫病症状



うどんこ病

地域活動紹介編

長野県農業委員会女性協議会上伊那支部総会・研修会(令和5年3月7日)

同会は、令和4年度の事業の総括について、箕輪町を会場に開催されました。

総会では原 美鈴支部長のあいさつがあり、農業委員会の女性登用について、さらに推進していくことを決議しました。

総会後は、信州トマト工房株式会社とみのわテラスの視察研修を行いました。



箕輪町産業支援センターにて総会



信州トマト工房株式会社視察研修(唐澤金実さんの説明を聞く)



防草ネット設置第3弾

富田清水地区、三日町上棚地区に続いて、南部営農組合木下地区でも、中山間地域直接支払制度とセンター事業を活用して、250㎡を設置しました。

藤森英雄支部長は、「中山間のみでなく、畦畔の管理は農地を維持管理していくうえで大きな課題となっています。防草シートで管理作業が少しでも軽減できれば」と意欲を燃やしていました。



三日町上棚地区で
設置した防草シートへ鹿が登ろうとしたが、滑って登れず諦めて
引き返した跡です



もうかる農業 浜松「スマイルファームスズキ」に衝撃を受けました

久々にコロナに注意しながら県外視察を行いました。

行先は浜松「スマイルファームスズキ」施設スプレー菊の周年栽培を見学させていただきました。

無駄をはぶき、効率的でもうかる農業経営を見学できました。



「スマイルファームスズキ」の作業場



年間出荷本数:567,000本
鈴木社長、妻、他7名で運営



鈴木健二会長

鈴木健次社長



箕輪町農業委員会の各地区担当委員 (任期: 2024 年 3 月まで)

唐澤 金実	沢上北部1組 79-5668	唐澤 俊秀	中原2組 79-5783	藤森 英雄	木下南城 79-4596	井口 雅文	福与卯の木 79-3801
大槻 憲治	沢15組 79-6116	春日 初(会長代理)	松島西小路 79-4370	小松 孝寿	木下南原 79-5219	金澤 博(農地部長)	長岡大門 79-5428
藤田 久一	大出4組 79-5525	唐澤 健二	松島春日町 79-6467	櫻井 克成	木下一の宮2 70-8536	上田 千志	南小河内 北部 79-5711
関 幹子(農政部長)	八乙女1組 79-3894	小野健一朗	松島南町3 79-0530	赤沼 好秋	富田 2組 79-5861	鈴木 健二(会長)	北小河内 中村 70-6212
小林 正俊	下古田1組 79-3312	倉田 孝子	木下上一東 79-5172	唐澤 由寛	中曽根 1組 79-5010		
唐澤 稔	上古田3組 79-4027	原 美鈴	木下南部 79-3138	藤澤 昭二	三日町上棚 79-4959		

JA上伊那北部営農センター
農事組合法人みのわ営農 → 79-0636

地区営農組合 (5 地区): 連絡先は上記の農業委員会の各地区担当委員におたずねください

北部 (沢/大出/八乙女/下古田)、中部 (上古田/中原/松島)、南部 (木下/富田/中曽根)、箕輪 (三日町/福与)、東箕輪 (長岡/南・北小河内)

箕輪町農業委員会だより 第15号 発行 2023 年 7 月 1 日
農業委員会事務局 (役場 みどりの戦略課内) 0265-79-3170

編集後記: 本格的な農作業時期になりましたね。新型コロナウイルスはインフルエンザとおなじ5類に含まれ、マスクも個人の判断に委ねられ、していない人もちらほら見かけるようになりました。とはいえまだ外すまでに至らない私。綺麗な布のマスクでおしゃれしましょうか! (猫鈴)